

小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 泉崎 春海



平成25年10月号

No. 458

練習の成果を発揮する運動会に

校長 泉崎 春海

「フレー、フレー赤組」「がんばれ、がんばれ白組」。子供たちの元気な声が校庭に響きます。運動会の応援合戦の練習での一幕です。

9月28日の運動会に向けて、子供たちは、一生懸命に練習や準備に取り組んできました。

音楽に合わせた表現や組体操の練習では、一つ一つの動きを確実に覚えて、リズムに乗って表現しようと、何度も何度も繰り返し頑張ってきました。また、短距離走では、タイミングの良いスタートの仕方や最後まで力いっぱい走り抜ける練習を行っています。その他にも、団体競技、全校競技、入退場行進など、いろいろな練習を続けてきました。

運動会では、集団で行動する場面がたくさんあります。運動会をより良いものにして、力を発揮するために、先日、子供たちにこんな話をしました。

運動会での演技や団体競技など集団で行動する時には、気持ちを合わせて「素早く」「一緒に」「整然と」行動することがとても大切だということです。自分一人が力をばらばらに発揮するのでは、演技や団体競技はまとまりに欠け、素晴らしいものや良い結果には結び付きません。でも、一人一人が気持ちを一つにして力を合わせることで、一体感や美しさが生まれて、競技や演技は何倍も素晴らしいものになります。そのためには、「自分は今何をすべきなのか」をしっかり考え行動することが重要になります。

「運動会本番だけしっかりやればいいや」等という気持ちでは、力を十分に出し切ることとはできません。本番で力を発揮するためには、それまでの根気よい練習が不可欠です。みんなで心と力を合わせ、あきらめることなく繰り返し練習する中で力が付き、伸びていきます。

運動会本番では、自分が出る種目で自分自身の力を出しきることはもちろん、みんなが力を合わせて演技や競技をすることにも精一杯努めてほしいと願っています。そして、普段の学習ではなかなか学べないことを学び、また一つ大きく成長する機会としてほしいと思います。

運動会当日は、たくさんの皆様においでいただき、大きな声援をいただければ幸いです。